

# やまがた 議会だより

令和2年1月

No.131



## 12月8日(日)休日議会を開催

- ・令和元年 第4回定例会 2ページ
- ・一般質問の要約 3ページ～6ページ

## 年に一度の行政視察に行ってきました

- ・常任委員会活動だより 7ページ

## 傍聴席から熱いまなざし

- ・「私の一言・休日議会の傍聴」 8ページ



令和元年12月26日(木)

じげんざん

村指定文化財の慈眼山清水寺・清水高原文化交流施設「あららぎの庄」にて  
子年が災害の無い年でありますように祈念して門松飾り

## 令和元年

### 第4回議会定例会

第4回定例会を12月6日に開会し、12月13日まで8日間開催した。

議案12件、陳情1件、報告1件、諮問1件を審議のうえ可決した。

一般質問は12月8日に11人が登壇し、村政全般について質問を行なった。

## 議案

- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
- 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 成年被後見人等の権利の制限に関する措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- 山形村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

○令和元年度山形村一般会計補正予算

○令和元年度山形村国民健康保険特別会計補正予算

○令和元年度山形村介護保険特別会計補正予算

○令和元年度山形村水道事業会計補正予算

## 主な事業等補正予算

### 衛生費

○塵芥処理費

トラックスケール更新工事  
(サンクスBBの計量機)

320万円

### 土木費

○道路新設改良費

道路新設改良、舗装新設事業工事  
(唐沢交差点)

143万円

### 基金費

○ふるさと応援基金費

ふるさと応援基金積立金  
(ふるさと寄付金の増額)

150万円

## 報告

○村の義務に属する和解及び損害賠償の額の専決処分について

## 諮問

○人権擁護委員 河西 廣志氏 (小坂)

## (請願・陳情)

○妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情書 \*山形村として妊婦を対象とした歯科健康

診査の実施について、村長へ送付した。

## 工事の発注状況

○令和元年度山形村役場サーバー室(コンピュータ関係)無停電電源装置用非常用発電機設置工事 千886万円

○令和元年度道路舗装補修工事

\*村道1級5号線下大池中央通398m

千625万円

○令和元年度グラインダーポンプ更新工事

(汚水の汲み上げポンプ)

\*グラインダーポンプ場4箇所

299万円

役場サーバー室無停電電源装置用非常用発電機設置工事  
(インターネットを通してサービス提供するコンピュータバックアップ)



## 一般質問

(休日議会)議員11人が

# 村政を問う

12月定例会の一般質問は、休日議会とし、8日に11人が17件を行ないました。

質問議員が要約したものを掲載します。

### 一般質問とは

一般質問は、村が行なうすべての事務や事業に関して、何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみ、臨時会ではできません。



清水高原の

## 今後の在り方を問う

小出敏裕議員

村長

山林資源や観光資源を有効に活用し、清水高原の活性化を図る

Q

観光道路わきの草木が枯れている原因は何か。

A

今年度は、除草剤散布を行なった。来年度からは、観光道路の自然を守るために、草刈り作業による道路わき整備を行なっていく。

Q

観光道路の崩れ落ちそうな倒木や、横吹沢の伐採した木材撤去の予定は。

A

倒木は早期に撤去したい。伐採した木材は松本森林組合の対応となる。

● 質問時間は40分(通常は60分)

山形村では、議員が質問できる時間は答弁を含めて、今回は一人40分以内です。

● 一問一答方式

質問は、一つ質問して一つの回答を得る一問一答方式です。より問題を深められる方法とされています。

● 事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

Q

「元気のである鐘」までの登山道を整備する予定はあるか。

A

除草整備はしているが、その他の具体的な整備予定はない。

Q

「スカイランドきよみず」の新しい指定管理者との話し合いの経過と、村としての方針はどうなっているか。

A

選定したドリームホテルと引継ぎを行なっている。村としては指定管理者、観光協会などと連携し、清水高原の活性化を検討する。

Q

清水高原の自然・施設・文化財をどのように活用していくのか。

A

清水高原に共存する村の貴重な資源を、有効的に活用できるよう対応したい。また、定住者の福祉面などを考えていく。



明日の地域を支える

人材づくりに、

山形村を支える地域づくりに、

新しい支援・助成制度を

考えられないか

百瀬昇一議員

村長

持続可能な地域コミュニティを形成するため研究を進める

Q

防災訓練を契機とした地域活性化、地域コミュニティの確立を。

A

地域コミュニティが防災力強化のカギであることは、強く認識している。

Q

次世代を担う子どもたちへの教育力の高揚を。

A

それぞれ地域での様々な行事が行なわれ、子どもたちの体験を豊かにする取り組みがされている。

教育委員会では、子どもたちが将来の村の課題について、よりよく解決していく力を育成する取り組みを行なっている。

村を誇りに思える、

郷土愛の醸成のための

教育や、ふるさとを創

り支える教育は大切だ。



「次代を担う子供たちのために～これからのコミュニティの在り方を考える～」研修  
11月21日(木) ミラ・フード館



## ハザードマップは いつ配布か

竹野入恒夫議員

村長 改定して3月末までに各家庭に配布する

**Q** 10月17日松本建設事務所より、土砂災害（特別）警戒区域に関する調査結果による、見直しの説明があった。

**A** 12月中旬には、調査結果を県に報告のうえ許可を得る予定であるが、現在の進捗状況は、土砂災害（特別）警戒区域等が県報に告示された。

松本建設事務所より図面等の資料が提示されたので、3月末までに改定したハザードマップを各家庭に配布するように準備をしている。

また、平成30年に発生した西日本豪雨等から「農業用ため池の管理及び保安に関する法律」が制定され、今年7月施行された。村内にある農業用利用されているすべてのため池は、「新田原池」など6ヶ所ある。中でも決壊による水害等に被害を及ぼす恐れのある新田原池、「八幡の男池、女池」が対象となり、このため池についても、今回改定する土砂災害ハザードマップの中に組み込んでいく。その他、「洪水ハザードマップ」について質問した。



## 小学校の教室を開放し、 放課後教室、学習支援の事業を 行なってみてはどうか。 『子どもの居場所』対策を

春日 仁議員

村長 子どもたちにとって、効果的な居場所づくりは必要なことと認識している

**Q** 児童館は登録利用児童が多く、手狭になっているが、対策は。

**A** 公共施設等管理計画や、子ども・子育て支援事業計画の中で課題として取り上げ、「子どもの居場所」の中に含め検討していく予定。



## 「地球温暖化対策」 推進に向けて

大月 民夫議員

村長 環境基本計画に行動指針盛り込みを検討

**Q** 温暖化による気象変動で、巨大台風が発生する危険性が、指摘されつつ不安がつの中、県内でも甚大な被害を被る大災害となった。

**A** 温室効果ガス削減に向けた、村の取り組み状況は。

公共施設のLED化や空調機器の更新など、よりエネルギー効率の高い機械設備への改修や、日常業務での事務用品の資源リサイクルの徹底などを行なってきた。

**Q** 「見守りが必要な子」などの専用な部屋と、専門の職員の配置が必要だと思うがどう考えるか。

**A** 専門の部屋は無いが、必要な場合はパーテーションで分け、クールダウン学習をしている。専門家については、教員や保育士、放課後児童支援員を配置している。

**Q** 近隣の市では、図書館と交流スペースを持つ施設がある。当村でも必要だが。

**A** 当村でも子どもの放課後の居場所確保は必要だ。今の施設で利用可能な空きスペースを研究したい。

**Q** その他、「村所有マイクロバスの活用方法」について質問した。

**Q** 今後の取り組み強化策や新たな計画は。

**A** 新年度は第4次環境基本計画の策定作業に入る。待ったなしの環境問題を真剣にとらえて、日々の暮らしの中で少しずつでも確実に、温暖化対策の実践ができる行動の指針を示す計画策定を行ないたい。

**Q** 世界で電気自動車へのシフトが急速に加速している。当村の公用車更新時に導入の検討着手を。

**A** ハイブリッド車など他の次世代自動車を含めた中で、導入を検討していきたい。温室効果ガス削減に向けた取り組みは重視していく。

**Q** その他、「役場庁舎の休日半日開庁」について質問した。



## 山形村の豊かな農地は 守られているか

上條倫司議員

村長 持続可能な開発目標（SDGs）の理

念を尊重しながら、豊かな農地を守る  
施策に反映していきたい

Q 風食は環境破壊で、大切な畑の表土の  
流失だ。

今、農地を守ることが大切で、SDGsを  
村づくりの中心に置き、環境破壊を止め、豊  
かな農地を守ろうとする心を育てることが、  
風食防止につながると思うが、どうか。



## 高齢者が安心して 生活できる施策は

新居禎三議員

村長 認知症など早期に支援を行なう

Q 高齢者の生きがいづくり、社会参加や  
農作業など、外出の機会に自家用車で出  
かけることが多いが、昨今の重大事故等に対  
して、移動手段の対応は。

A 現在、村には路線バス・福祉バスなど  
があるが、自家用車は必要不可欠である。  
車の急発進防止装置への補助等を行なってい  
る自治体もあるが、地域特性を考慮して近隣  
市町村とも連携し、公共交通などの移動手段  
を研究していく。

A SDGsは持続可能な開発のためのグ  
ローバル目標のことで、国連加盟国が環  
境や貧困など17の大きな目標と、それを達成  
するための具体的な169のターゲットで構成さ  
れている。30年のあるべき姿を基に、いまか  
ら何をすべきかを考え、行動し達成しようと  
する約束だと理解して  
いる。

当村では、SDGs  
を本格的に取り組むま  
では至っていないが、  
この理念を尊重しなが  
ら今後の施策に反映し  
たい。



風食対策のソルゴー

Q 認知症による徘徊などで、介護を行な  
っている家庭の負担に、どのように支援  
ができるか。

A 徘徊などで被害者・加害者両方の可能  
性が高く、早期に支援ができるよう医療  
機関との連携を密にして、初期集中支援チー  
ムでの検討を定期的に行なっている。

さらに、徘徊に対しては、地域の見守りで  
早期発見をして、家族の元へ帰れるよう、  
QRコードシールを貼っていただき、発見者  
が素早く家庭や村にメールでの連絡が、スマ  
ーズに行なえるシステム導入に向けての準備  
をしている。

その他、「台風19号での村の対応、今後の  
防災体制」について質問した。



## 公共建築物あり方 検討委員会の答申は

福澤倫治議員

村長 答申を受け、ふるさと伝承館は来年度  
中に取り壊したい

『ふるさと伝承館』の公共建築物あり  
方検討委員会の検討結果、答申内容は。

Q ふるさと伝承館は耐震化工事をしてい  
ない、かつ施設の老朽化が著しく危険な  
状態である。自然災害が山形村でも起こりう  
る可能性が十分にあるため、早急に保存資料  
を移転して取り壊しをする必要がある。

Q 早急に結論を出したらどうか。

A 来年度中にふるさと伝承館の内部に収  
蔵している資料等を搬出し、ふるさと伝  
承館は取り壊したいと考えている。

Q 役場夜間窓口開設は15年経過、検証は  
関係の部署により、何回くらい検証が  
行なわれたか。

A 検証資料は残っていないが、職員の意  
見等を聴取は行なっている。住民サービ  
スとしては一定の成果をあげている。

Q 費用対効果の検証はどうか。

A 費用対効果というよりは、住民サービ  
スの一つの形態と考えている。  
住民ニーズにより、実施回数・開庁時間・  
休日開催の可能性、職員体制の見直しなど検  
討したい。



### 台風19号の対応は

大池俊子議員

村長 福祉避難所設置や、避難所開設運営への女性目線の必要性等多くの課題あり

**Q** 各地区の避難場所開設や避難者の状況、そして福祉避難所の設置は。

**A** 各地区の公民館、公会堂、コミュニティセンターを避難所として6カ所開設し、小坂公民館8名、上竹田公会堂2名が避難した。福祉避難所は設置していない。

**Q** 9月1日の防災訓練や、台風19号台風による避難所開設に関しての問題点、そして山形村に合った独自の目安とは。



### 児童・園児の砂糖の摂取過多の抑制は

百瀬 章議員

教育長 小学校の給食における砂糖使用量は、

平均1日3.5グラム

**Q** 砂糖の摂取過多による児童並びに園児に及ぼす影響を知っているか。

**A** 身体に及ぼす悪い影響はわかっている。厚生労働省の15年版日本人の食事摂取基準に基づき、料理に必要な以外の砂糖摂取は控えている。

**Q** 熱中症対策での飲料水は何か。

**A** スポーツ飲料500mlのペットボトル1本を飲むと、WHO基準の1日25グラ

**A** 避難所開設・運営マニュアルの必要性、福祉避難所の開設等多くの問題点と課題がある。台風対応での反省会や意見を生かし、山形村として、どういう体制で災害に対応するか検討をしていく。

**Q** 各地区で起こった災害等を伝え残す工夫を、小学校ふるさと学習成果の活用を。

**A** 小学校では、「ふるさとプロジェクト」で村に伝わるカルタに、小坂の大火、昭和20年の水害で殉職した消防団員についても盛られて、防災教育の一貫としている。その他、「インフルエンザ予防接種に村の助成を」について質問した。

**Q** 結果はどうであったか。

**A** インターネットへの接続機器はゲーム機が最も多い。

**Q** SNSやオンラインゲームなどの適正使用についての指導はしているか。

**A** 見知らぬ相手とネット上でつながる危険性などについて、松本警察署生活安全課の職員を講師にメディアアリテラシー講座を開催している。

**Q** 『児童のインターネットの利用状況は』

**A** 教育長 今年6月、塩筑校長会で小学3年生から6年生のアンケートを実施

**Q** 結果はどうであったか。

**A** インターネットへの接続機器はゲーム機が最も多い。



### 小中学生を交通事故から守るために、通学路の安全対策の再点検を

小林幸司議員

村長 村内にはスクールゾーンの表示や標識の設置箇所は無い

**Q** 今後、スクールゾーンや時間指定の車両侵入禁止などの措置は取れないか、特にJA山形支所整備センターから北への道路に。

**A** スクールゾーンの指定は小学校を中心とした半径500m範囲の通学路に限られる。交通安全委員会の許可や道路沿線の住民の承諾が必要となるため協議が必要である。

**Q** 村として通学路の危険箇所の点検は行なっているか、保護者やPTAの意見は聞いているか。

**A** 教育委員会は平成28年3月に山形村通学路交通安全プログラムを策定し、7月には推進会議を設置し、関係者による合同点検を毎年行なっている。

**Q** 中学生の交通ルールや交通マナーの指導は行なっているか。

**A** 年度初めには交通安全教室を開催し、交通ルールや交通マナーについて指導している。また、教師が通学状況を街頭で確認の上指導、一方生徒の自転車の危険運転に関する地域住民からの情報を校内で共有し、生徒指導につなげている。

**Q** 交通安全教室を開催し、交通ルールや交通マナーについて指導している。また、教師が通学状況を街頭で確認の上指導、一方生徒の自転車の危険運転に関する地域住民からの情報を校内で共有し、生徒指導につなげている。

年一度の行政視察に行ってきました

常任委員会行政視察報告

## 総務産業

10月29日(火)

### 志摩市のSDGs未来都市計画

総合計画を基礎として重点計画を策定。SDGsは、持続可能な社会を実現するために、世界中の国々や企業団体が共有するまちづくりの目標です。

**志摩市が抱える課題** どうやって暮らしていけばいいの？

- 人口減少と高齢化の進行
- 「御食国」を支えてきた農林水産業者の減少
- 産業生産額の減少

\*「御食国」とは皇室、朝廷の海水産物を中心とした御食料を貢いだと思われる国です。

**志摩市の持続可能な開発目標 (SDGs)**

豊かで美しい志摩市を、次の世代に引き継いでいくために、SDGsを活用し、みんなで連携して、志摩市のまちづくりを進めます。



志摩市役所会議室にて



伊賀の里モクモク手づくりファームにて

10月30日(水)

### 農業法人 伊賀の里モクモク手づくりファーム

「農業の可能性と夢の具体化」

環境への考え方 モクモクの“できる限りやさしい宣言” 生産(1次)×加工(2次)×流通販売サービス(3次) → 第6次産業

「農業の新しい価値の創造」に挑戦することが私たちの役割です。



## 福祉文教

10月15日(火) 富山市・射水市

### 富山型デイサービス

「しおんの家」「ふらっと」の2施設

富山型デイサービスとは

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる場所。

小規模で家庭的な雰囲気の中、利用者が自然に過ごせたり、利用者を限定しないなど、長野県にはない形態の施設・サービスです。

10月16日(水) 砺波市・恵那市

現在、山形村の「ふるさと伝承館」は、老朽化のため閉館中です。文化財や民具などをどのように展示・収蔵していくのが課題です。そこで、砺波郷土資料館分室「砺波民具展示室」、明智回想法センター「思い出学校」の視察となりました。



富山型デイサービス「ふらっと」にて



恵那市「明智回想法センター」にて

# 議会へ 私の一言

## 傍聴席より

以前から傍聴しているが、それぞれ質問の作り方・内容がまとまり、わかりやすく質問の要点整理がハッキリしてきている。

休日議会は年末でない方がよい。

(下竹田) 百瀬 厚美さん

子どもの居場所・通学等の子ども対策。

台風19号の対応でのハザードマップ・避難所の被害者対策等、身近な課題に焦点が当てられ、興味深かった。

地球温暖化防止で、村の今後に村民環境意識の共有を図る機会にしたいという前向きな質問も出ました。

非常に勉強になりました。

(上竹田) 斉藤 信夫さん

初めて傍聴いたしました。

正直な感想として、とても面白いと内心ワクワクした気持ちになりました。

村民の小さな声など、行政には届かないものとあきらめていた私ですが、議員さんが私たちを代表して、村に質問や提案をしてくださっているのだとわかり、嬉しくなりました。

議会の傍聴を、友人、知人も呼びかけ参加していただきたいと思います。

(上大池)

シュラーク さやかさん



議場の傍聴席より



初めて傍聴いたしました。休日議会は良いアイデアですね。

各議員さんがそれぞれのいろんな角度から質問し、ほかの地域の取組も調べて提言している、なるほどと思いました。

生活していて、困っていることや疑問に感じていることを、身近な議員さんと気軽に話し合えたらいいと思います。

傍聴席に行くのに階段がありました。車椅子の方はどうするのでしょうか。

(上大池) 小口 佳子さん

## 編集後記



昨年きんじゅうしは、今上天皇が即位され、元号が平成から令和になり、現憲法下では三代目の天皇となり、歴史的な年になりました。

この令和元年第4回定例会は前年同様、村民の皆様にも身近な議会として感じていただけるように、休日に一般質問を行ないました。

まだ発信が足りなかったかと思いますが、傍聴にお越しになりました皆様には感謝申し上げます。

今年が皆様にとって良き年でありますようご祈念申し上げます。

三澤 一男

### 発行責任者

議長 三澤 一男

### 議会広報編集特別委員会

委員長 百瀬 昇一

副委員長 小出 敏裕

委員 大池 俊子

委員 竹野入恒夫

委員 百瀬 章

委員 三澤 一男